＜新商品資料＞　　２００８年9月２６日

世界が絶賛した大友克洋の劇場アニメ「ＡＫＩＲＡ」Ｂｌｕ－ｒａｙ Ｄｉｓｃで２００９年２月に日・米同時発売

アニメＢＤで世界初となる最高音質仕様

バンダイビジュアル株式会社
住所：東京都港区東新橋 1-9-2 汐留住友ﾋﾞﾙ 16F
社長：川城和実、資本金：21 億 8250 万円

バンダイナムコグループのバンダイビジュアル株式会社は、Ｂｌｕ－ｒａｙ Ｄｉｓｃ（以下、ＢＤ）世界同時発売プロジェクト第２弾として、世界的大ヒットを記録した日本アニメの金字塔、大友克洋監督の「ＡＫＩＲＡ」のＢＤを２００９年２月に同時発売します。
・日本：２００９年２月２０日発売（８，１９０円／税込）
・北米：２００９年２月２４日発売（ＵＳ＄４９．９８／税抜）北米での税率は地域によって異なります。

■世界初、ＢＤならではの最高音質を実現した「ＡＫＩＲＡ」

ＢＤ「ＡＫＩＲＡ」はアニメＢＤとして世界で初めて、日本語５．１ｃｈ音声を１９２ｋＨｚ２４ｂｉｔのサンプリングで収録しています。ＢＤのフルスペックを活用した最高峰の音質で、本作独特の音楽をはじめ豊かで迫力あふれるサウンドトラックを、幅広い帯域に渡って原音に忠実に再生することができます。加えて、今回のＢＤのために新規ＨＤテレシネを行ったニューマスターによる映像をお楽しみいただけます。

■ＣｏＦｅｓｔａ２００８で初お披露目

ＢＤ「ＡＫＩＲＡ」は「ＪＡＰＡＮ国際コンテンツフェスティバル」（ＣｏＦｅｓｔａ２００８）の“最新デジタル映像技術の開く新世界”キックオフイベント（第２回栃木・蔵の街かど映画祭・１０月４～５日開催）で初公開されることが決定しました。さらに、１０月１９日には「ＣｏＦｅｓｔａ２００８表参道イベント」での特別上映会が予定されています。

■日・米に充実の仕様＆特典

この商品は日本語･英語吹き替えのほか、日本語・英語（ＯＮ・ＯＦＦ可能）の字幕付きです。また封入特典に日本発売では日本語、北米発売では英語の特製ブックレットが付属します。映像特典には、劇場予告編や大友克洋による静止画の絵コンテ集がお楽しみいただけます。こうした仕様・特典により世界中の「ＡＫＩＲＡ」ファンにより深く本商品をお楽しみいただくことができます。

世界で大ヒット「ＡＫＩＲＡ」とは

「ＡＫＩＲＡ」の原作は、１９８２年から９０年にかけて講談社「ヤングマガジン」に連載された大友克洋による本格派のＳＦアクション漫画です。これをもとに１９８８年に大友克洋自身が映像化した劇場アニメーション「ＡＫＩＲＡ」が公開され大ヒットとなりました。緻密な作画や迫力のあるアクションシーンなどで当時のアニメーション業界に革新をもたらした本作は日本・アメリカ・ヨーロッパ・アジアなど全世界で上映され大絶賛を浴び、日本のアニメを海外へ広めた代表的な作品です。



販売元

日本国内	バンダイビジュアル株式会社より販売
北米エリア	ＢＡＮＤＡＩ　ＥＮＴＥＲＴＡＩＮＭＥＮＴ　ＩＮＣ．より販売

＜商品概要＞

ＢＤ「ＡＫＩＲＡ」

発売日　　：日本　２００９年２月２０日、北米　２００９年２月２４日
希望小売価格：日本　８，１９０円（税込）、北米　＄４９．９８（税抜）
※北米での税率は地域によって異なります
収録時間　　：１２４分（予定）
スペック　　：ドルビーＴｒｕｅＨＤ(５．１ｃｈ)・リニアＰＣＭ(ドルビーサラウンド)
ＡＶＣ／ＢＤ５０Ｇ／１６:９<１０８０ｐ Ｈｉｇｈ Ｄｅｆｉｎｉｔｉｏｎ>
日本語・英語吹替音声を収録／日本語・英語字幕付（ＯＮ・ＯＦＦ可能）
※日本語５.１ｃｈ音声を１９２ｋＨｚ　２４ｂｉｔで収録
封入特典　　：特製ブックレット<日本語版（日本発売のみ）・英語版（北米発売のみ）>２０Ｐ（予定）
映像特典　　：特報Ｎｏ.１・特報Ｎｏ.２・ＴＶスポット、予告編Ｎｏ.１・予告編Ｎｏ.２
大友克洋による絵コンテを静止画で収録
※日本ではレンタルも同日開始します。

＜ストーリー＞

１９８８年７月、第三次世界大戦勃発。
そして、２０１９年、メガロポリス東京・・・。
健康優良不良少年グループのリーダー・金田は、荒廃したこの都市でバイクを駆り、暴走と抗争を繰り返していた。ある夜、仲間の鉄雄は暴走中、奇怪な実験体の少年と遭遇し、転倒負傷。呆然とする金田たちの前で、彼らは軍の研究所へと連れ去られてしまう。
鉄雄救出のために研究所へ潜入を試みる金田。だが、彼はそこで、過度の人体実験により新たな「力」に覚醒した、狂気の鉄雄を見る・・・。
一方、研究所内の特殊ベビールームでは、実験体の少女が、「最高機密＝アキラ」の目覚めを予言。
鉄雄は自らの力の謎に近づくべく、地下深く眠る「アキラ」への接近を開始した・・・。



(c)1988 マッシュルーム／アキラ製作委員会

バンダイビジュアルホームページ：http://www.bandaivisual.co.jp
ＪＡＰＡＮ国際コンテンツフェスティバル（ＣｏＦｅｓｔａ２００８）：http://cofesta.jp